【総括表】

用途	図書館

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	中央図書館	西町	大規模修繕	
2	こども図書室	高橋町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、市民の生涯学習や交流、ふれあいの場として多くの市民が日常的に利用している施設であり、利用促進、安全性の確保を優先的に進める必要がある。

なお、対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	中央図書館

1　施設の概要（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	西町　豊田参合館内	延床面積	45,460.74 ㎡ （図書館占有 12,567 ㎡）

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
豊田参合館	SRC 造	1998	12,567.00	3～7 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
中央図書館は１９９８年に開館、開館後２１年が経過し、経年による老朽化が出ている。また利用頻度が高いことから、給排水設備や空調設備の摩耗が散見される。 過去には床の部分貼替、クリーニングを実施している。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 また、点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

（現在の導入状況）
　２０１７年度から施設の維持管理及び運営に民間ノウハウを活用する指定管理者制度の導入を開始している。

（今後の考え）
　指定管理者制度の活用により、効果的かつ効率的な施設運営に努める。

☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

　利用者ニーズに応じた機能へのグレードアップや、バリアフリー化への対応等、既存の設備よりもグレードの良い設備へと更新し、施設としての利便性向上に努める。
　設備の更新にあたっては、照明の LED 化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備や、エネルギー消費量の少ない設備等に更新し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

　更新工事にあたっては、全館の休館はせず、フロア毎など施工箇所を限定しながら行い、図書館の利用制限を最小限に留めた更新とする。

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	こども図書室

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	高橋町	延床面積	354.29 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年	延床面積（㎡）	階数	備考
こども図書室	RC 造	1973	354.29	1 階	1 階部分のみ

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
建築年から４６年経過しており、経年による老朽化が進んでいる。雨漏りが数か所で発見されており、その都度修繕を繰り返して利用に耐えうる状態を維持している。 ２０１４年に内装保全、２０１８年に照明の一部を LED 化している。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。また、点検結果や耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
２０１７年から指定管理者制度を導入している。図書館運営に係るボランティアの意見に配慮しながら、効果的かつ効率的な施設運営に努める。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	照明のＬＥＤ化や衛生器具の更新により、既存施設よりもエネルギー消費量やメンテナンスの頻度の少ない設備に変更することで、ランニングコストの縮小に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	
更新に係る費用の平準化や図書館運営の状況を考慮する必要があるため、中央図書館の個別施設計画も考慮する。	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。